



令和3年11月9日

各位

会社名 株式会社ファルコホールディングス  
 代表者名 代表取締役社長 安田 忠史  
 (コード番号：4671 東証第一部)  
 問合せ先 執行役員管理室副室長 大馬 久幸  
 (TEL. 06-7632-6150)

### 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、令和3年5月11日に公表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 連結業績予想の再修正

令和4年3月期通期(累計)連結業績予想(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 44,800	百万円 2,800	百万円 3,000	百万円 1,800	円 銭 173.48
今回修正予想 (B)	47,800	4,000	4,200	2,600	249.30
増減額 (B - A)	3,000	1,200	1,200	800	43.7
増減率 (%)	6.7	42.9	40.0	44.4	
(ご参考) 前期実績 (令和3年3月期)	43,608	2,614	2,853	1,853	178.61

#### 2. 業績予想の修正の理由

当期第2四半期累計期間は、新型コロナウイルス感染症(以下、「COVID-19」)が猛威を振るった第5波の影響により関連検査の受託数が関西圏および東海圏を中心に当初の想定を超えて著しく増加しました。一方でその後の10月以降は関連検査の受託数は落ち着きつつあり、第3四半期以降は当初の想定範囲内になるとの想定をしております。また、MSI検査キットの販売は8月に適応拡大され、今後の収益に寄与すると予想しております。これらにより通期の臨床検査事業売上高が前回公表時より10%程度押し上げ、連結売上高増加に大きく寄与する見込みとなりました。

一方コスト面では、当社が今後も活力ある企業として継続するため、人事制度改正等の人財への投資、遺伝子関連ビジネスにおける新たな分野への先行投資を計上することを見込んでおります。

上記の売上及びコストにより、連結上の営業利益および経常利益につきましては、前回公表を12億円上回り、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、8億円程度上回る見込みであります。これら各利益はいずれも過去最高益を見込んでおります。

これらの状況を踏まえ、令和4年3月期通期の連結業績予想を修正いたします。

(注) 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以上